



当たり前前のことを当たり前前にできる人になろう

今から15年前、「あたりまえのことだけど、とても大切なこと ~子どものためのルールブック」(ロン・クラーク著、亀井よし子訳; 2004年、草思社)という本がベストセラーになりました。

この本の最初には、次のように書かれています。「人間の生き方、他者との関わり方、人生の楽しみ方に関する、初めてのルール集。一見「そんなのあたりまえ!」と思う方もいるでしょうが、そのあたりまえのことを、多くの子が今、だれからも教わっていません。子どもに充実した人生を送ってほしいと願うすべての人のためのルールブックです」

さて、私たちのまわりにはたくさんのルールがあり、それを守ることによって、お互いが楽しく過ごすことができます。一番重要なルールは「日本国憲法」や「法律」であり、身近なものには「校則」があります。この本には50のルールが書かれています。そのうち最初に取り上げられているルールはこれです。

【ルール1】

大人の質問に答えるときには、「はい、そうです」とか「いいえ、ちがいます」というように、いつもきちんとした言葉づかいで答えよう。ただうなずくだけではだめだし、乱暴な答え方もいけない。

こんなことは、当たり前すぎて生徒手帳にも書かれていません。でも、みなさんが社会生活を送っていくときに、周囲の人とよい関係をつくっていくときに、とても大切なことなのです。

アメリカと日本の生活や学校システムの違いがあり、ピンと来ないルールもあるかもしれませんが、このあたりまえのことを、いくつ守れているでしょうか。50のルールを掲載しますので、□の中に「レ」のマークを記入しながらチェックしてみてください。

- 1 大人の質問には礼儀正しく答えよう
- 2 相手の目を見て話そう
- 3 だれかがすばらしいことをしたら拍手をしよう
- 4 人の意見や考え方を尊重しよう
- 5 勝っても自慢しない、負けても怒ったりしない
- 6 だれかに質問されたら、お返しの質問をしよう
- 7 □をふさいで咳やくしゃみをしよう
- 8 何かをもらったら3秒以内にお礼をいおう
- 9 もらったプレゼントに文句をいわない
- 10 意外な親切でびっくりさせよう
- 11 人の成績を言いふらさない
- 12 人(先生や友だち)が読んでいるところを目で追うこと
- 13 質問には完全な文章で答えよう
- 14 自分から褒美(ほうび)を要求してはいけない
- 15 宿題は必ず提出しよう
- 16 教科(授業)の切りかえはすばやく

- 17 できるかぎり整理整頓をしよう
- 18 宿題に文句をいわない
- 19 代理の先生の授業でもルールを守ろう
- 20 授業中は許可なく席を立たない
- 21 先生に挨拶しよう
- 22 お客さまを歓迎しよう
- 23 だれであれ、仲間はずれにしない
- 24 叱（しか）られている人のほうを見ない
- 25 宿題の内容について質問しよう
- 26 きれいにあとかたづけをしよう
- 27 バスのなかではおとなしく座っていよう
- 28 人の名前をしっかりおぼえよう
- 29 食べ物を欲ばって取らない
- 30 だれかが何か落としたら、拾ってあげよう
- 31 つぎの人のためにドアを押さえていよう
- 32 だれかとぶつかったらあやまろう
- 33 公共の建物に入るときはおしゃべりしない
- 34 訪問先では何かをほめよう
- 35 集会ではおしゃべりしない
- 36 電話の対応はきちんとしよう
- 37 お世話になった人にはお礼をいおう
- 38 エスカレーターでは左（右）側に立とう
- 39 全員で廊下を歩くときにはおしゃべりしない
- 40 横入りをしてはいけない
- 41 映画館では絶対におしゃべりしない
- 42 学校に<ドリトス※>をもってこない！ ※ アメリカで人気のスナック菓子
- 43 もしもいじめられたら知らせてほしい
- 44 信じるもののために立ちあがろう
- 45 前向きに生きて、人生を楽しもう
- 46 したいことがあるなら、やってみよう
- 47 まちがいを受け入れよう
- 48 いつも正直でいよう
- 49 現在を楽しもう
- 50 **きみのなれるもっともすばらしい人間になれ**